

令和5年度「境界問題解決センターふくおか」事業報告

センター長 和知雅彦（調査士：運営委員 丸山知英 古財朋和 池之上幸輝
相談・調停員 稲員俊介 井上晴剛 鹿島浩太郎
片岡達也 木下順一 黒瀬哲
八田和昌 溝田智司 簗田剛丈
（弁護士：運営委員2名）

1 基本業務

弁護士との協働による相談業務及び調停業務

電話照会は39件、相談申出6件、調停申立2件だった。

2 研修の充実

(1) ADR委員による協議会の運営

事例紹介等を行い委員間での意見交換等を行った。

(2) ADR委員の資質向上を図るための研修会の開催

研修部と連携して専門研修会で研修を行った。

鹿児島大学、鹿児島会等によるロイヤリング実践セミナーに参加した。

九州ブロック協議会ADR研修会に参加した。

模擬調停を行い、意見交換等を行った。

3 広報活動の充実

(1) 広報部との連携による広報活動

広報部と連携して西日本新聞に広告を掲載した。

広報部主催の無料相談会に相談調停員を派遣した。

（無料相談会の相談件数151件）

(2) 県会ニュースや研修会等を利用した活動状況の報告

県会ニュースに毎月の実績を掲載した。

(3) 官公署等へリーフレットの配布

無料相談会・専門職団体連絡協議会でリーフレットの配布を行った。

主要官公署へリーフレットの配布を行った。

4 関連機関との連携・情報交換等

(1) 法務局との連携及び情報交換

ADR週間（ADRの日）の案内を県会とセンターのホームページで行った。

令和6年2月7日に福岡法務局と連携協議会を行った。

(2) 他会のADRセンターとの連携及び情報交換

法テラスのホームページ上で相互リンクの掲載継続して頂いた。

5 その他

(1) ウェブ相談等への検討

ウェブによる相談等の問題点について検討を行った。

(2) ODRへの対応するための規則変更等

他会ADRセンターとオンラインで結び調停を行うODRに対応するため、

センター規則及び手続実施規程の変更を行った。

- (3) ADR法改正等に伴う検討を行った。